

西進商事株式会社本社

SEISHIN TRADING CO., LTD

No. 07-006-2010作成
新築
事務所

発注者	西進商事株式会社	カテゴリー	A. 環境配慮デザイン	B. 省エネ・省CO2技術	C. 各種制度活用	D. 評価技術/FB
設計・監理	鴻池組大阪本店一級建築士事務所 KONOIKE CONSTRUCTION CO.,LTD	E. リニューアル	F. 長寿命化	G. 建物基本性能確保	H. 生産・施工との連携	
施工	株式会社鴻池組 大阪本店	I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性	K. その他		

自然と街並みとの協調を目指して

パッシブデザイン

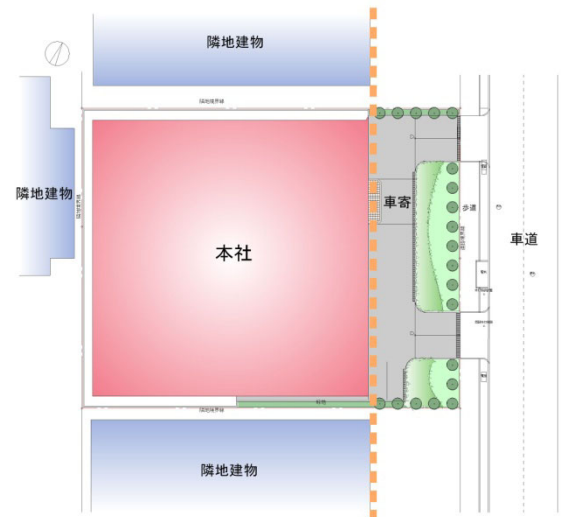
本建物は商社でありかつ省エネ関連技術開発を積極的に行っている企業の本社事務所である。立地は、神戸市の人工島という歴史的街並みの文脈が浅い事が特徴的な地域環境である。その中で、企業風土を表出するファサードデザインの創出、相反する室内環境の共存、施主の意向による省エネ技術の積極採用、及び新たな街並み形成、これらが設計に取り組む上での優先課題であった。設計手法として、これら諸課題を受け止めながらそれぞれを単独で解決する事なく、建物内外ひいては敷地内外の環境と融和させながらデザインに昇華させ、自然と街並みに協調した建物計画となる事を目指した。



外観（前面道路から望む）

街並み形成にむけて

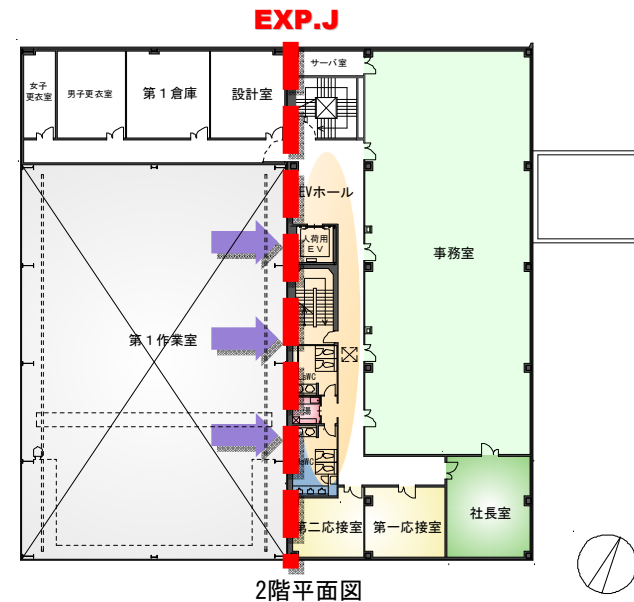
前面道路から近隣建物と協調するようにセットバックを行い、建築線を形成するよう心がけた。また、歩道に面して緑地帯を設ける事により公共空間へのアメニティー形成に寄与している。



配置計画

異なる室内環境諸室の共存

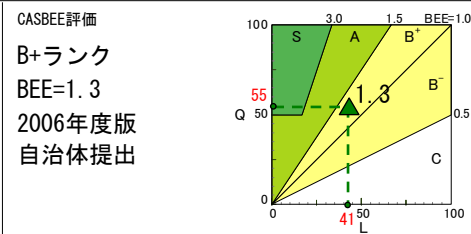
エキスパンションジョイントで構造的に分離し、廊下・トイレといった緩衝空間を間に配置することにより合理的に作業室から執務室への振動・騒音の伝搬を無くした。



2階平面図

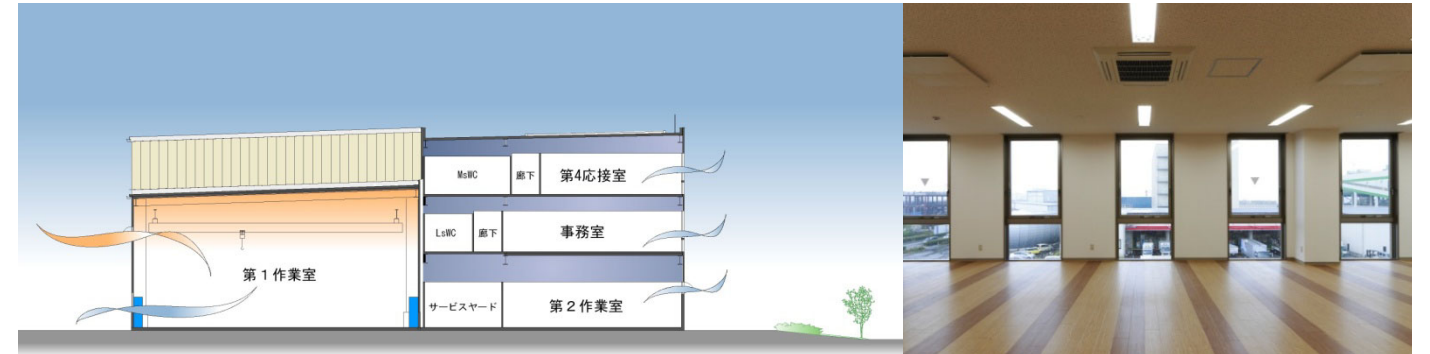
建物データ

所在地	兵庫県神戸市
竣工年	2010年
敷地面積	2,000㎡
延床面積	2,947㎡
構造	S造
階数	地上3階



パッシブエネルギーの活用

自然採光、自然換気を積極活用するため、全ての居室に方位及び自然エネルギー活用に効果的なデザインを考慮した開口を設けた。

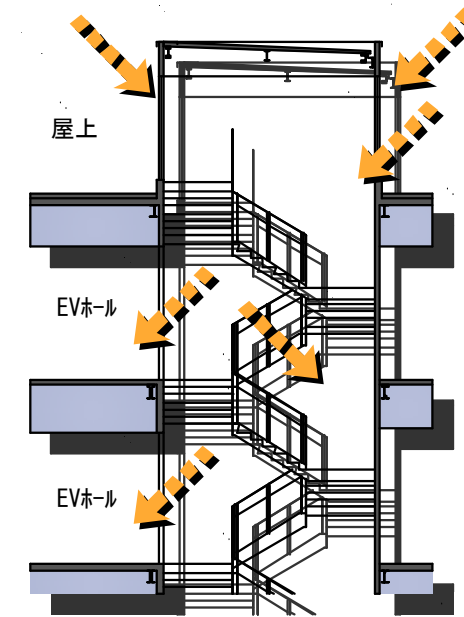


●自然換気

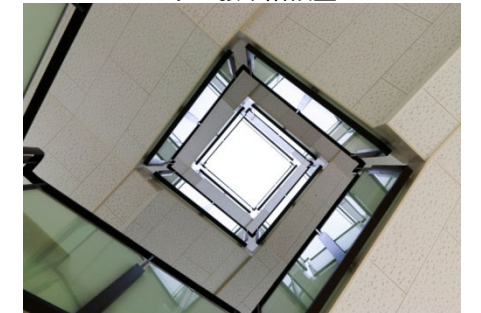
大空間の作業室には熱だまり解消の為に上下に有効に換気を促す開口を計画した。東側に面した執務ゾーンでは縦軸回転スリット窓を設ける事により日射調整も行いながら、街並みに向かって特徴的なファサードデザインを形成した

●自然採光

建物中央部に配置された階段はホール共々暗くなりがちである。そこで人工照明に極力頼る事を避けるため、塔屋に採光の開口を設け、光の井戸となる階段室を目指した。効果的に自然光を下階に行き渡らせる為、吹抜け状のガラス手摺の階段とした。またホールに向かってはガラス張りの階段室とし、自然光をあふれ出させている。



ガラス張り階段室



ガラス手摺の吹抜階段

省エネ技術の積極活用

施主の展開する事業のひとつにLED、ソーラーパネル製作機器開発といった、省エネに寄与する技術開発が挙げられる。施主技術を積極的にかつ効果的にアピールするように活用しながら、省エネに貢献をしている。



LED照明（中央菱形部）

ソーラーパネル

設計担当者

統括：久保田広法／建築：大橋達也／構造：永原吉浩／設備：関東由佳

主要な採用技術（CASBEE準拠）

- Q3. 2. まちなみ・景観への配慮（道路側緑地の連続性確保、街並みに協調した配置計画・外観デザイン）
- LR1. 2. 自然エネルギー利用（自然採光、自然換気、太陽光発電）
- LR1. 3. 設備システムの高効率化（全熱交換機、エコキュート、人感センサー、LED照明）
- LR2. 1. 水資源保護（節水型機器）
- LR3. 2. 地域環境への配慮（方位等に配慮した配置計画）